

# JaLEC

# 設立記念シンポジウム

麗澤大学 日本語教育共創ラボ  
Japanese Language Education  
Co-creation Lab  
Reitaku University

麗澤大学では、今年新たにJaLEC 日本語教育共創ラボを創設しました。日本語教育について、大学での理論と教育・支援現場での実践をつなぐ共創の場です。本シンポジウムでは、日本語教育に関する大学・学校・地域での具体的な実践を共有し、現場での経験がどのように学びへとつながるのかを多角的に考えます。



## 日本語教育の実践と理論をつなぐ ～ 共創拠点の役割とは ～

### 1 基調講演 現場で学ぶためにできること—理論と実践を編み直す



**石黒 広昭** 立教大学文学部 教育学科/文学研究科 特別専任教授  
大学では、現場で役立つ知識や技能、理論を学ぶことが求められます。しかし、大学で学んだ理論がそのまま現場に適用できると考える実践者はいないでしょう。現場で戸惑い、現場で泣き、現場で学ぶ実践者にとって、現場はまさに新たに理論を構築し、実践を編み直す創造の場でもあります。現場の実践を通して学ぶ力について、皆さんと共に考えてみたいと思います。

### 2 実践報告 大学と地域・高校をつなぐ現場から



**井上 里鶴**  
麗澤大学国際学部  
准教授



**金 孝卿**  
麗澤大学国際学部教授  
日本語教育共創ラボ長

①やさしい日本語を活かした地域連携 (井上)  
②外国につながる生徒支援における大学生の変容 (金)  
大学と地域社会をつなぐ日本語教育実践を取り上げ、現場においてどのように学びや意味が生成されているのかを考えます。①は、「やさしい日本語」を活用した富士宮市の地域連携プロジェクト。②は、千葉県内定時制高校での学習支援の事例。実践が生み出す学びの過程と意義を考察し、最後に石黒先生とディスカッションを行います。

### 3 現場との対話

#### 登壇者+実践報告の関係者

多様な立場から実践を振り返り、課題や可能性を共有しながら、連携のあり方について考えます。

**平尾 陸:** 愛光学園山手日本語学校専任講師、富士宮プロジェクト初代代表

**山田 知弘:** (有)日の出企画代表取締役、静岡県地域づくりアドバイザー、総務省地域力創造アドバイザー

**松本 桜季:** 日本語教育支援員経験者

**佐々木 健:** 千葉県立東葛飾高校定時制課程副校長(支援員受入れ校)

#### 《司会進行》



**大関 浩美**  
麗澤大学国際学部 教授  
大学院言語教育研究科長



2026年**5月30日**(土) **13:00~17:30**

(開場 **12:00**) 参加無料\*

於・麗澤大学 校舎「さつき」1階・大講義室 千葉県柏市光ヶ丘 2-1-1

\* QRコードまたは公式Webサイトから極力ご予約ください。



#### YouTubeライブ配信

YouTube麗澤大学チャンネル/麗澤大学公式Webサイト

🔍 麗澤大学 <https://www.reitaku-u.ac.jp/>



JR常磐線各駅停車(東京メトロ千代田線直通)「南柏」駅、東口より東武バス「1番乗り場」に乗車で約4分。「麗澤大学前」下車。  
※1番乗り場のバスはすべて「麗澤大学前」を通ります。

# 日本語教育や支援に関わる 実践者・学生・研究者をつなぎ、 学び合いを続けていくために。



## プログラム

12:00 <開場>

13:00 学長挨拶 JaLEC設立趣旨説明 設立記念出版の紹介  
フォーラム趣旨説明: 大関 浩美 (麗澤大学国際学部教授/大学院言語教育研究科長)

### 1 基調講演

13:40 石黒 広昭 (立教大学 特別専任教授)  
「現場で学ぶためにできることー理論と実践を編み直す」

### 2 実践報告

14:50 ① 井上 里鶴 (麗澤大学国際学部 准教授)  
やさしい日本語を活かした地域連携(富士宮市酒蔵プロジェクト)  
ー 大学と地域とつなぐ意義を考える: 多文化共生の現場から

15:10 ② 金 孝卿 (麗澤大学国際学部/言語教育研究科教授、JaLECラボ長)  
外国につながる生徒支援における大学生の変容  
ー 県立定時制高校での実践から

15:30 ディスカッションとまとめ  
<休憩>

### 3 現場との対話

16:30 登壇者+実践報告の関係者  
平尾 陸: 愛光学園山手日本語学校専任講師、富士宮プロジェクト初代代表  
山田 知弘: (有)日の出企画代表取締役、静岡県地域づくりアドバイザー、  
総務省地域力創造アドバイザー  
松本 桜季: 日本語教育支援員経験者  
佐々木 健: 千葉県立東葛飾高校定時制課程 副校長 (支援員受入れ校)

17:20 総括: 金孝卿

17:30 懇親会(希望者)

## 登壇者プロフィール

### 石黒 広昭 (いしぐろ・ひろあき) <基調講演>

立教大学文学部 教育学科/文学研究科 特別専任教授。精神発達理論をベースに、人間の発達と学習の過程を研究。言語、文化、人工物、遊び、授業、放課後活動、移民、保育、教育、演劇などに関する多彩な著作がある。国内外で言語的文化的多様性を生きる子どもたちに対するワークショップを実施している。

### 金 孝卿 (キム・ヒョギョン)

麗澤大学国際学部/言語教育研究科教授。圓光大学校師範大学日本語教育科卒業後、お茶の水女子大学大学院人間文化研究科言語文化専攻博士前期課程修了、同大学院人間文化研究科国際日本学専攻応用日本言語論講座博士後期課程修了。2026年春、JaLEC日本語教育共創ラボ開設にあたりラボ長に就任。

## JaLEC 日本語教育共創ラボとは?

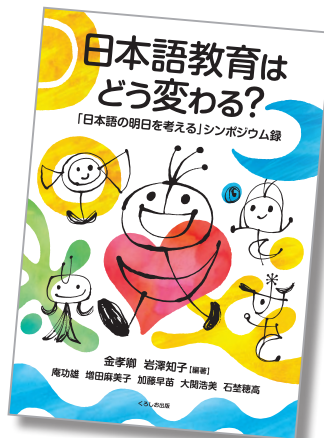
2026年春、麗澤大学に誕生した新組織です。麗澤大学の日本語教育に関わる3つの部門(センター・学部・大学院)を横断し、地域社会で日本語教育に関わる皆様と、大学(研究者・教育者・学生)が繋がり、共に新たな知を創り出すためのプラットフォームです。日本語教育を「多文化共生社会を支える営み」として捉え直し、3つの柱で社会に貢献します。

### 【3つの共創アクション】

♡つなぐ (ネットワーク形成): 大学(研究者・教育者・学生)と地域・行政・企業をつなぐ、日本語教育に関する相談や連携の窓口として、地域社会のニーズに応えます。

♡学び合う (JaLECフォーラム): 今回のようなシンポジウムや研究会などを通じて、様々な実践と知が出会う機会を作ります。

♡発信する (知の共有): 実践と研究の成果を「JaLECジャーナル」やWebを通じて発信し、多文化共生の未来に向けた提言を行います。



### 設立記念出版

JaLEC設立のきっかけとなったシンポジウム録です。日本語と日本語教育の明日を考えるすべての方に!  
定価2,420円(税込)  
くろしお出版  
2026年5月25日発売  
A5判 170頁 オールカラー  
**会場にて販売!**

### 井上 里鶴 (いのうえ・りず)

麗澤大学国際学部准教授。専門は日本語教育、サービス・ラーニング(社会貢献と学びを統合した教育手法)。筑波大学大学院博士後期課程修了。茨城県日本語教育アドバイザーを務めるなど、地域に根差した日本語教育や、夜間中学校、外国にルーツを持つ子どもたちの支援研究に取り組む。

### 大関 浩美 (おおぜき・ひろみ)

麗澤大学国際学部教授/大学院言語教育研究科長。早稲田大学第一文学部(西洋史学)卒業後、お茶の水女子大学大学院人間文化研究科言語文化専攻博士前期課程修了、同大学院人間文化研究科国際日本学専攻応用日本言語論講座博士後期課程修了。「人がどのように言語を学ぶか」というプロセスを研究。